

身のまわりの役割分担

家族の中での自分の役割を考えてみよう

みなさんには、学校生活の中でさまざまな役割や仕事があり、それぞれの場で力を発揮していると思います。では、家の中ではどうでしょうか。一度、考えてみて下さい。食事の準備やかたづけ、洗たくやごみ出しなどを行っている人もいることでしょう。しかし、その一方で、「中学生だから、勉強さえしていればよい。」「家のことは、まわりの大人がすればよい。」と思ったりしたことはないでしょうか。

家族の役割分担について考えてみよう

「固定的性別役割分担」という言葉があります。これは、「男は外で仕事をし、女は家で家事をするというように、性別によって役割を固定化してしまう」という意味です。

〈図1〉は、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についてどう思うかを調査したものです。これを見て、みなさんはどのように思いますか。

〈図2〉は、家事に費やす時間を調査したものです。これを見て思ったことを話し合ってみましょう。

家事・介護・育児に「男」「女」といった性別が必要でしょうか。「おたがいに協力する」「分担する」「家族みんなでする」という考え方で行動すれば、みなさんにもできることが多くあると思います。

現代社会では、今まで以上におたがいを理解し、協力しながら生活していくことが重要になってきます。みなさんも家族の一員として、「自分のことは自分でする」「自分の分担を決めて家族のために役割を果たす」「夕食のかたづけはみんなで協力する」というように、「男」「女」といった性別ではなく、家族の中における「自分」の役割を考え行動することが大切です。

図1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった考え方について(男女別)

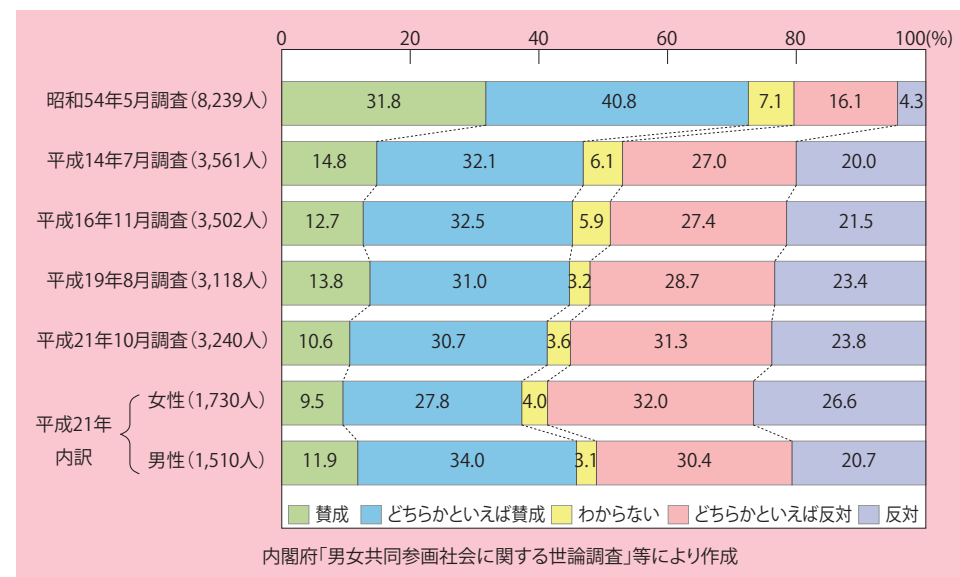
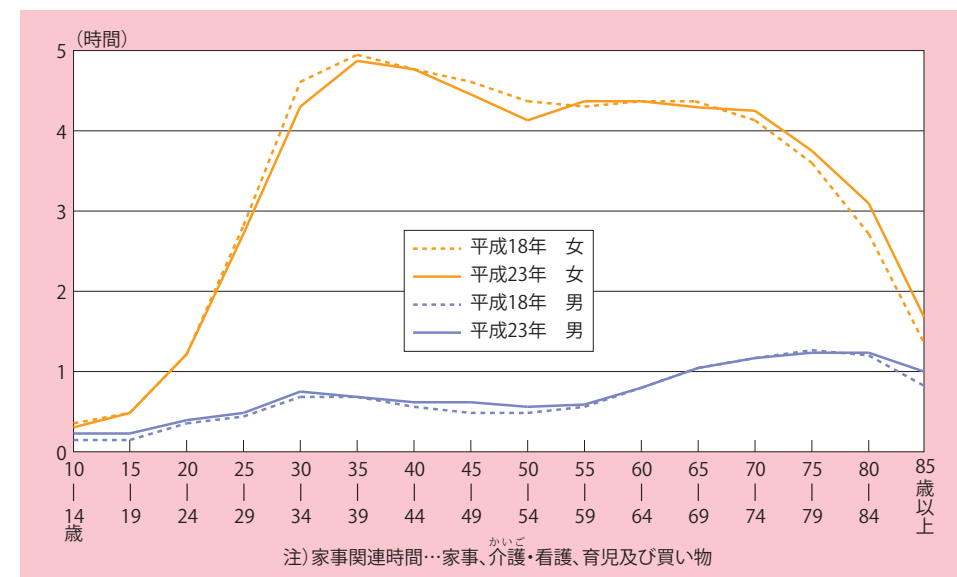


図2 男女、年齢階級別家事関連時間(平成18年、23年) 週全体



メモ

メモ